

くまもと

熊本県広報誌

2002
4月号
No.30

熊本県の人口(2月1日推計) 1,860,234人 男 878,273人 女981,961人

発行 / 熊本県広報課

「松島有料道路」5月17日(金)開通!

熊本都市圏と県内主要都市を90分で結ぶ「90分構想」達成に向け、
整備を進めている熊本天草幹線道路の1区間、
「松島有料道路」がいよいよ開通します。
天草へお出かけの際には、ぜひご利用ください!



主な記事

- 2 特集1 / 平成14年度予算と財政健全化
- 5 特集2 / くまもと県民交流館「パレア」がオープン!
- 6 県からのお知らせ 7 お知らせ・知りたい!県庁
- 8 くに郷づくり通信・来て見てだより



■ 通行料金

普通車	200円
大型車()	300円
大型車()	700円
軽自動車など	150円

歩行者、自転車、原動機付自転車、
125cc以下の自動二輪などは通行できません。



特集1

平成十四年度予算と財政健全化

新年度(平成十四年四月から平成十五年三月まで)の県の当初予算の概要と、財政健全化の取り組みについてご紹介します。

予算編成の基本方針

○ 平成十四年度の予算の編成に当たっては、厳しい財政状況を踏まえ、「財政健全化」計画に基づいた取り組みを強力に進めるとともに、県の施策の成果を客観的に評価し、併せて組織のあり方や事務の進め方などに検討を加えながら、事務事業の徹底的な見直しを行いました。

同時に、県政の喫緊の重要課題である「雇用創出」と「有明海・八代海再生」への取り組みや、県総合計画の「21世紀への挑戦プロジェクト」の推進に弾みをつける五つの施策については、限られた財源の特定の重点化を図るなど、厳しい財政状況の中でも、重要政策課題を重点的かつ着実に推進する予算となるよう編成しました。

喫緊の重要課題として

全庁横断的、総合的に取り組む施策

■雇用創出

二百四十五億四千八百万円

○ 厳しい雇用情勢を踏まえ、総合的な雇用創出を進めるため、「熊本県雇用創出対策」に基づいた取り組みを図ります。

○ 地場企業の経営革新などの取り組みを積極的に支援し、地域産業の振興を図るとともに、ベンチャー企業の支援や技術革新による新産業の創出を図ります。さらに、中心市街地など商店街の活性化や、企業誘致に取り組みます。

○ 地域の実情に応じた技術研修や職業教育の充実を図るほか、再就職が厳しい中高年

齢者を試行的に就業させ常用雇用に結びつける取り組みを進めるとともに、「緊急地域雇用創出特別基金」を活用して、効果的な雇用・就業機会の確保に努めます。

○ 雇用拡大に取り組む中小企業に対する新たな融資制度の創設など、中小企業の経営基盤の強化に取り組みます。

■有明海・八代海再生

九十九億千二百万円

○ 有明海および八代海を再生するため、「熊本県有明海・八代海再生に向けた総合計画」に基づいた取り組みを図ります。

○ 海域への環境負荷を抑制するための環境保全策として、生活排水対策などに取り組むとともに、川や海を健全な姿で次の世代に継承していくための県民運動を積極的に展開します。

○ 水産資源の回復策として、再生に向けた調査や藻場の造成、干潟機能の回復などに取り組むとともに、適正な養殖技術や漁場環境改善の取り組みの徹底により、持続的生産が可能な養殖業を推進します。



「21世紀への挑戦プロジェクト」の推進に弾みをつける施策

■ゆとり創造ファミリープラン

二十六億四千七百万円

○ 子育てや介護の負担などから一時的に親や家族を解放し、生活にゆとりを創出するレスパイトケア施策に総合的に取り組みます。

○ 子育て応援団を引き続き支援し、小児救急医療体制の整備や子育てに係る精神的・経済的負担を緩和する施策を拡充します。

■新幹線ゆめづくり推進プラン

六百万円

○ 多くの県民が参加して、開通後の地域の展望を持つとともに、その活用策などの提案をいただく「新幹線ゆめ語り」に取り組めます。



熊本駅付近イメージ写真

○ 県民参加による協議会を設置し、地域活性化の方策を検討するとともに、その具体化により「新幹線を活かしたくまもと創り」に取り組めます。

■ありのままのくまもと再発見

一億九千三百万円

○ 熊本県の豊かな自然、おいしい水、多彩な農林水産物など豊富な地域資源を生かしていくため、「地産地消運動」を展開し、県産農林水産物の県内での消費拡大に取り組めます。

○ 熊本県の自然・文化資源を再発見し、それらを素材とした観光ルートの開発やグリーン・ツーリズムの推進などに取り組めます。

○ 県内の小学生が水俣市を訪問する体験学習の支援、水俣に学ぶ環境学習プログラムの策定などに取り組めます。

■渋滞ボトルネック解消

百一億二千五百万円

○ 都市圏交通の円滑化、阿蘇・天草への交通アクセスの向上および第二テクノパークなど企業集積地周辺における交通アクセスの向上を図るためのハード面の整備に取り組めます。

○ バス交通優先システムの導入や、迅速かつ的確な道路交通情報の提供など、ソフト面の取り組みを進めます。

■みどりの財産づくり

二十億千八百万円

○ 熊本県の財産である健全な森林づくりを目指し、森林所有者などが行う森林整備活動の支援や、間伐の実施などに取り組むとともに、県産材の供給体制整備や、需要拡大を進めます。

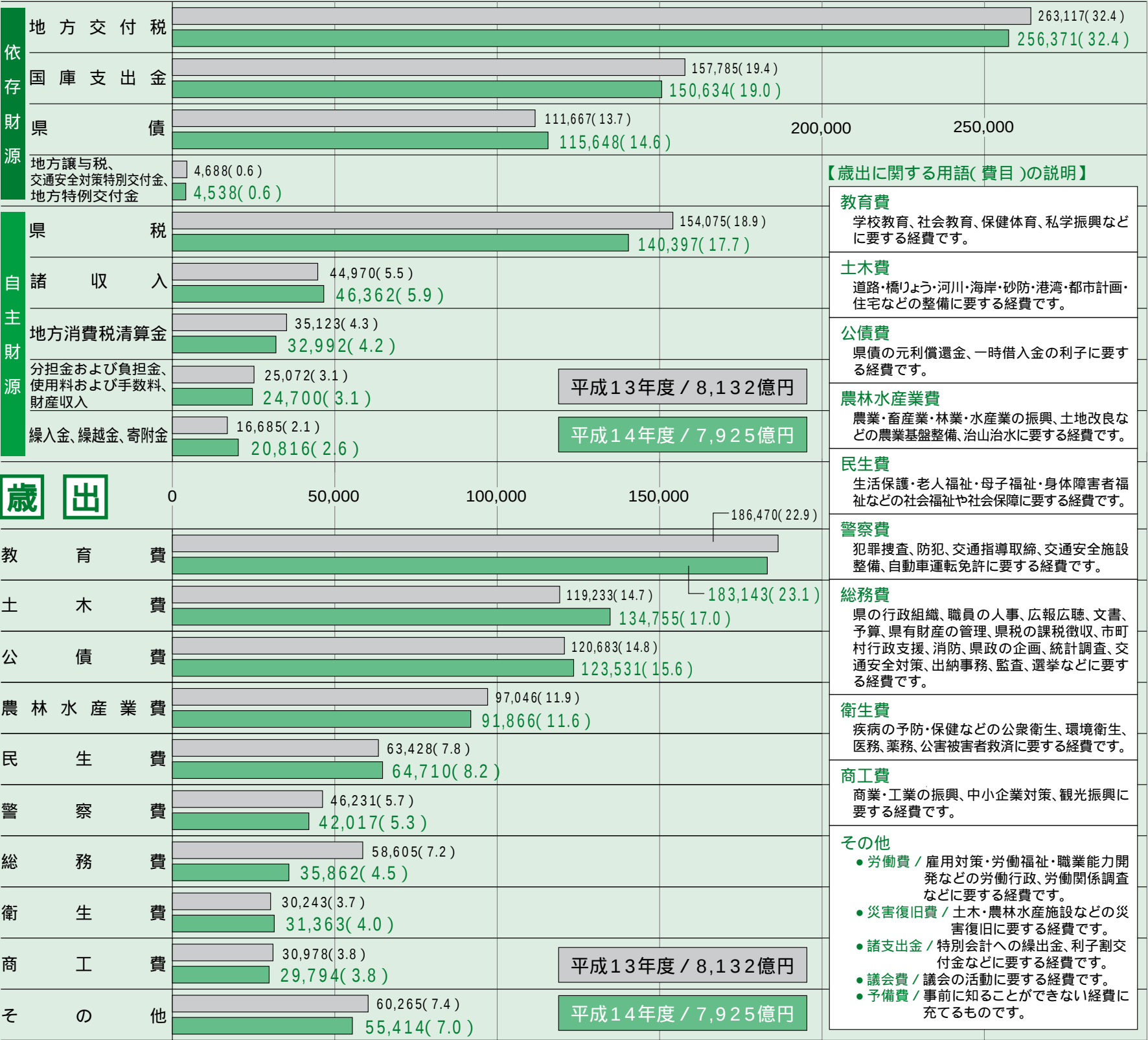
○ ボランティアなどによる森林づくりの推進や、県営都市公園の管理運営にモデル的に取り組むほか、地下水保全支援システムなどの検討を進めます。



歳入

〔予算の歳入・歳出のグラフ(平成13年との比較)〕

〔単位:百万円 ()内は%〕



(注)平成14年度は新幹線建設事業費負担金など(26,318百万円)が総務費から土木費に移管されています。

用語の説明

- 1 レスパイトケア / 子育てや介護からの一時的な解放のため、親・家族や子どもなどに対して行われるサービスのことです。
- 2 ユニバーサルデザイン / 年齢や性別、身体機能や能力などにかかわらず、だれもが使いやすく、暮らしやすいまちづくりや、ものづくり、環境づくりをしていこうという考え方です。
- 3 地産地消 / 「地場生産 - 地場消費」を略した言葉で「地元で採れた産物を地元で消費する」という意味で使われています。
- 4 グリーン・ツーリズム / 緑豊かな農山漁村地域において、その自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動のことです。
- 5 ボトルネック / ビンの首の部分が水の流れを制限している様子から、道路が狭くなり車の流れの妨げとなっている区間のことをいいます。

■お問い合わせ先 / 熊本県財政課 企画調整班 ☎096-383-1111(内線3273) FAX096-382-7815
電子メール zaisei@pref.kumamoto.jp

知事室から



熊本県知事 西山 茂 彦 子

陽春四月、新しく第一歩を踏み出された方々も多いことでしょう。この時期は、夢や希望を抱き、また、語りたくもなります。

県におきまして、厳しい財政状況ではありますが、今回ご紹介した平成十四年度の県予算は、熊本県の素晴らしい自然や水、豊かな食物、交通アクセスがよく、保健・医療・福祉が充実し、文化が息づく熊本づくりを目指すものです。

そのために、今後、各種施策を実施するに当たっては、ユニバーサルデザインを基本理念として取り組んでいくこととしています。また、財政健全化や行政改革を着実に推進してまいります。

本年度は、五月にサッカー・ワールドカップに伴うベルギーチームのキャンプ、十月に技能五輪全国大会と全国障害者技能競技大会、十一月に全国菓子大博覧会と大きな大会が続きます。熊本の魅力を国内外に発信する絶好の機会です。ぜひ、一緒に取り組んでまいりましょう。

県では、平成13年2月に「熊本県財政健全化計画(平成13年度～平成17年度)」を策定し財政の健全化に取り組んでいます。ここでは、平成14年度予算編成における財政健全化の主な取り組みと、今後5年間の中期財政見通しを紹介します。

1.平成14年度予算編成における財政健全化の主な取り組み

財政健全化計画に基づく取り組みにより、歳入面において42億円の財源確保を図り、歳出面においては185億円の抑制を図りました。

- (1)歳入の確保42億円
 - 県税収入の確保.....5億円
 - ・ 県下一斉休日・夜間催告および納税・相談窓口開設による徴収確保や滞納整理の強化など
 - 県有財産の売却促進.....4億円
 - ・ 未利用地の早期売却
 - その他.....33億円
 - ・ 県営住宅使用料などの未収金の早期回収
 - ・ 熊本港周辺海域漁業振興基金の活用など
- (2)歳出の抑制185億円
 - 人件費.....33億円
 - ・ 職員数の削減(知事部局で45人)
 - ・ 職員給与費および特別職報酬等の削減など(一般職支給額の2%削減など)
 - 物件費.....3億円
 - ・ 契約方法の見直しや各種業務委託の見直しなど
 - 補助費など.....8億円
 - ・ 各種補助金や負担金などの計画的な削減や廃止など
 - 投資的経費.....140億円
 - ・ 一般会計の普通建設事業費で対H13年度比6.9%の減
 - なお、公共事業の重点化などを図るため、事業規模がおおむね10億円以上の大規模公共事業145件について、それぞれ見直しを行い、そのうち11事業について事業規模などをさらに検討することとしました。
 - その他.....3億円
 - ・ 公営企業会計への貸付金の一時休止

- (3)財源不足額への対応.....162億円
 - (1)(2)の取り組みを行っても、なお残る財源不足額(要調整額)162億円について、次の取り組みにより収支の均衡を図りました。
 - ・ 財政健全化債の発行.....50億円
 - ・ 特定目的基金(地域福祉基金)の臨時的活用.....5億円
 - ・ 財政調整基金などの活用.....107億円
- (4)その他の財政健全化の取り組み
 - 県債発行額の抑制
 - H13 988億円 → H14 888億円(100億円減)
 - (一般会計ベースで、臨時財政対策債を除き財政健全化債を含む。)
 - 財政調整基金などの確保
 - H13 82億円 → H14 105億円(23億円増)
 - (各年度当初予算編成後の年度末残高の見込額)

2. 中期財政見通し(普通会計ベース 平成14年2月試算)

は財政健全化期間					
単位：億円					
	H14	H15	H16	H17	H18
歳出 A	7,871	7,819	7,875	7,836	7,928
歳入 B	7,709	7,685	7,807	7,832	7,975
要調整額 A - B	162	134	68	4	47

歳出：過去の決算の推移および今後の財政需要を考慮して推計
歳入：国(H14.2：財務省)において見込まれた名目経済成長率(H15：1.25%、H16～：2.5%)などを参考にして推計

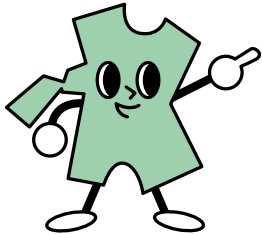
■お問い合わせ先 / 熊本県財政課 財政健全化対策室

☎ 096-383-1111(内線3287) FAX096-382-7815
電子メールzaisei@pref.kumamoto.jp
なお、詳細については、県のホームページでもご覧いただけます。

(注)各数値は四捨五入の関係で、合計と一致しない力所があります。

ご意見・ご感想をお寄せください。

ご紹介した特集記事やその他の記事について、皆様のご意見・ご感想などをお待ちしています。いただいたご意見などは、今後の紙面づくりの参考とさせていただくとともに、本誌の中でご紹介させていただく場合があります。
下の切り取りハガキに必要事項をご記入のうえ、お送りください。ハガキは平成15年3月31日まで有効ですので、今回号のみでなく、6月号以降についてのご意見にもお使いください。お送りいただいた方には、抽選で粗品を進呈します。
なお、ご意見・ご感想などは、電子メールでも受け付けています。(左下のアドレスまで)



切り取りハガキの組み立て方



キリトリ線に沿って切りぬき、中央で山折りに。内側になる面にのりをつけ、しっかり貼り合わせます。

●お問い合わせ先
熊本県広報課
☎096-385-2096
電子メール
kouhou@pref.kumamoto.jp

■該当する項目に をつけ、その理由をご記入ください。

特集について(月号特集 1 ・ 2)
おおむね理解できた ・ 理解できなかった
(理由)

特集の内容へのご意見・ご感想があればご記入ください。

「県からのたより」について
読みやすい ・ 読みにくい
(理由)

そのほか、本誌に関するご意見・ご提案があればご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

郵便はがき



8 6 2 8 7 9 0

(受取人)
熊本市水前寺六一八一
熊本県庁
広報課
行

〒			
住所			
氏名	ふりがな	年齢	歳
		性別	男 女

(差し支えない範囲でお書きください。)

特集2 くまもと県民交流館「パレア」がオープン!

4月1日、熊本市手取本町地区の市街地再開発ビル「テトリア熊本」の9階と10階にくまもと県民交流館「パレア」がオープンしました。

「パレア」は、NPO・ボランティア、男女共同参画社会づくり、生涯学習など、県民の皆さんの自発的で主体的なさまざまな活動を支援するとともに、就業へのサポート機能を併せ持つ拠点施設です。

また、「テトリア熊本」1階には、「観光物産交流スクエア」も併設しました。皆さんのご来館をお待ちしています。



パレアでは次の施設が利用できます

■ 無料施設

● パレアルーム

NPOボランティア団体、男女共同参画社会を目指す団体などのミーティングや資料作成など自発的な活動をサポートする施設です。NPO法人化の相談にも応じます。

● パレアロビー

団体活動、作品展示などの発表の場、語らいの場として提供しています。

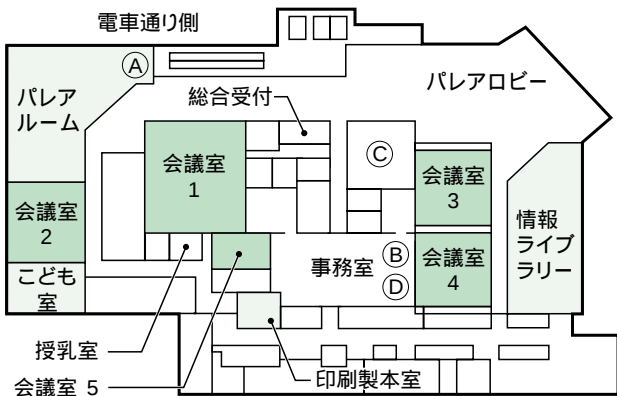
● 情報ライブラリー

男女共同参画、生涯学習に関する行政資料の閲覧、書籍・ビデオの視聴、貸出ができます。

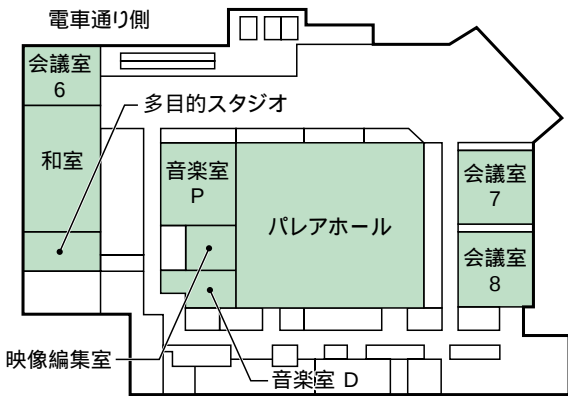
● 印刷製本室

印刷・製本機の使用には用紙とインク代など実費相当額が必要です。

9F 自主的な活動・交流、研修、会議にご活用いただけます。



10F 大小会議室や映像編集室、和室、音楽室を備えています。



■ 有料施設使用料 [お問い合わせ ☎ 096-355-4300]

階数	施設名	定員 (人) 机・いす 利用時	使用料金(円)		
			午前 午前9時から 正午まで	午後 午後1時から 午後5時まで	夜間 午後6時から 午後9時まで
9F	会議室 1	123	7,200	9,600	7,200
	会議室 2・3・4	各45	3,600	4,800	3,600
	会議室 5	10	1,300	1,700	1,300
10F	パレアホール	312	19,600	26,200	19,600
	会議室 6	24	2,200	3,000	2,200
	会議室 7・8	各45	4,000	5,300	4,000
	和室	36	5,700	7,600	5,700
	音楽室 P	-	3,500	4,700	3,500
	音楽室 D	-	1,400	1,800	1,400
	多目的スタジオ	-	1,800	2,400	1,800

有料の催しなどにご利用される場合は、上記金額の2倍の使用料をいただくことがあります。詳細はお問い合わせください。

パレアの各センターでは、次の業務を行っています

NPO・ボランティア協働センター(9F)A

お問い合わせ先 ☎096-355-1186 FAX096-355-4318
●特定非営利活動促進法(NPO法)認証事務を行うほか、NPOやボランティアと行政の協働による、さまざまな活動の実現を目指します。

NPO・ボランティア活動相談 ☎・FAX 同上

男女共同参画センター(9F)B

お問い合わせ先 ☎096-355-1187 FAX096-355-4317
●男女共同参画社会の実現に向けたシンポジウムや講座の開催、情報の収集と提供、人材の育成、相談、調査研究などの事業を行います。

女性総合相談(県庁から移転) ☎096-355-2223

女性が抱えるさまざまな悩みや問題についての相談に応じます。

しごと支援センター(9F)C

お問い合わせ先 ☎096-355-4309 FAX096-355-4317
●就業に関する情報提供を行うとともに、「育児や介護などを理由に退職した方で再就業を希望する方」や「就業経験のない方」などで雇用保険受給の対象とならない方に対して、就業に関する相談・助言および技術講習を実施します。

就業に関する相談(鶴屋8階ウイミングが移転) ☎096-355-2224

生涯学習推進センター(9F)D

お問い合わせ先 ☎096-355-4312 FAX096-355-4317
●県民カレッジの運営をはじめ生涯学習の情報提供、学習相談などを行います。また、視聴覚教材の貸出なども行います。

生涯学習相談(県立図書館から移転) ☎・FAX096-355-4308

観光物産交流スクエア(1F)

お問い合わせ先 ☎096-212-3040 FAX096-212-3139
●観光、物産、産業における情報発信スペース。旬の特産品の販売や各地の観光PRなど、週替わりでイベントが開催されます。

■〒860-8554(住所の記入は必要ありません)

くまもと県民交流館パレア

■☎096-355-1185 FAX096-355-4317

■ホームページ <http://www.parea.pref.kumamoto.jp>

■電子メール parea@pref.kumamoto.jp

■開館時間 9:00~21:00

各業務により時間が異なりますので、お手数ですが、ご確認の上ご利用ください。

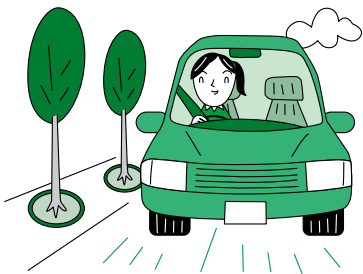
■休館日 年末年始(12月29日~1月3日)

保守点検日(不定期、毎月1日程度)

県からのお知らせ

自動車税にグリーン化税制が適用されます

自動車税のグリーン化税制とは、環境への配慮から、燃費・排出ガス性能や年式に応じて自動車税が増減される、今年度からの新しい制度です。

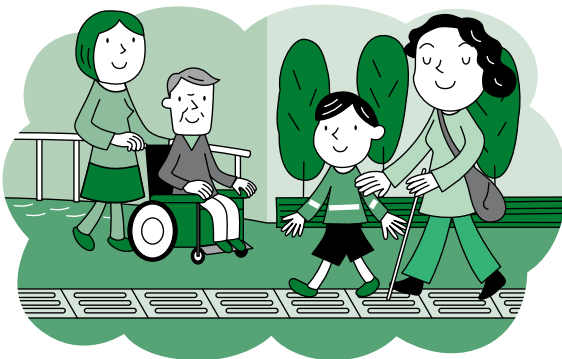


- 平成13年度および14年度に新規登録された、燃費・排出ガス性能のよい新車／排出ガス性能に応じて約50％～13％減額(登録の翌年度から2年間)
- 新車登録から11年を過ぎたディーゼル車、新車登録から13年を過ぎたガソリン車／約10％増額

自動車税の納税通知書を5月初めにお届けします。納期限の5月31日(金)までに、お近くの金融機関や県の出先機関の税務課で納付してください。

お問い合わせ先 熊本県自動車税事務所
☎096-368-4020
FAX096-368-2299
電子メール jidousyazei@pref.kumamoto.jp

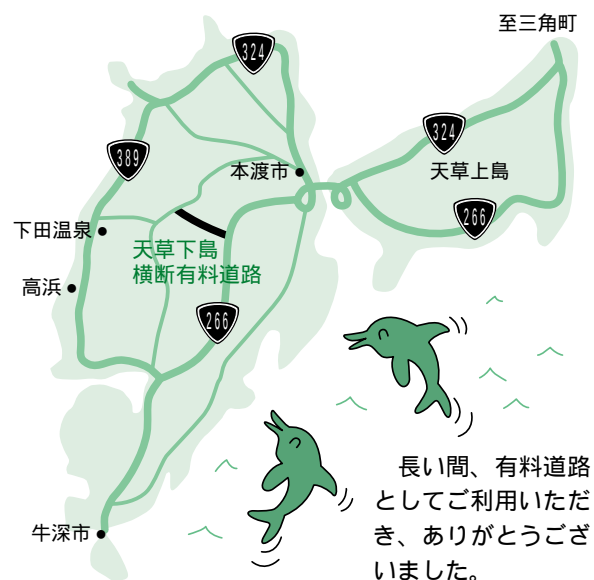
お年寄りや障害のある方がいきいきと暮らせる社会をめざして



今後9年間に取り組む“高齢者や障害者にやさしいまちづくり”の指針となる計画を改定しました。お年寄りや障害のある方の自立や社会参加を進めるため、意識づくり、雇用や教育における制度の充実、建物・道路の整備などに取り組んでいきます。皆様のご協力をお願いします。

お問い合わせ先 熊本県健康福祉政策課 やさしいまちづくり班
☎096-383-1111(内線7024)
FAX096-384-9870
電子メール kenkoufukushi@pref.kumamoto.jp

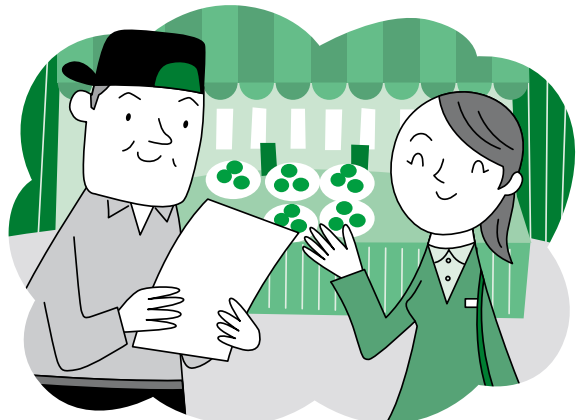
5月1日から天草下島横断有料道路が無料になります



長い間、有料道路としてご利用いただき、ありがとうございました。

お問い合わせ先 熊本県企業局経営課 経営第一班
☎096-383-1111(内線6403)
FAX096-384-9114
電子メール keiei@pref.kumamoto.jp

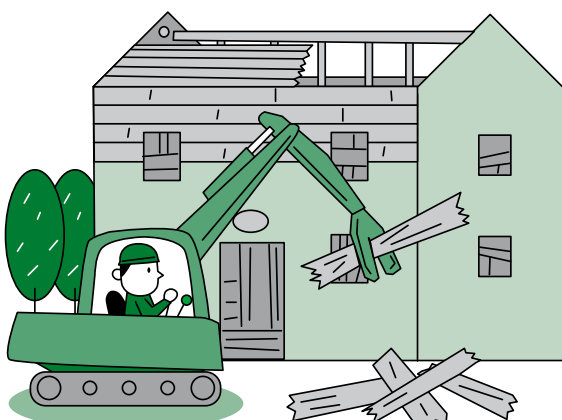
卸売・小売業を営まれる皆さんへ商業統計調査についてのお願い



商業統計調査が、6月1日(土)現在で全国一斉に実施されます。調査員がお伺いしますので、ご協力をお願いします。個々の調査内容については秘密が守られます。

お問い合わせ先 熊本県統計調査課 教育商工班
☎096-383-1111(内線3611)
FAX096-384-7544
電子メール toukeichousa@pref.kumamoto.jp

建物の解体工事などを行う場合は「届出」が必要です



5月30日(木)以降に建物の解体工事などを行う場合は、工事に取りかかる7日前までに、各地域振興局(熊本市・八代市の場合はそれぞれの市役所)の建築確認担当窓口へ「届出書」を提出してください。

お問い合わせ先 熊本県土木技術管理室 技術指導係
☎096-383-1111(内線6055)
FAX096-381-0570
電子メール dogikanri@pref.kumamoto.jp

従業員教育への支援についてのお知らせ

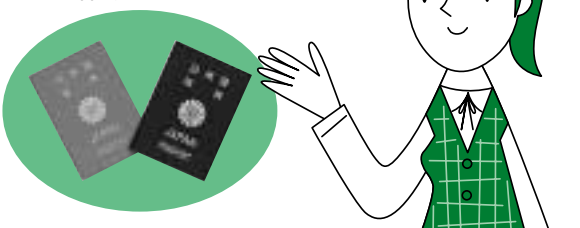
「生涯能力開発給付金」と「認定訓練派遣等給付金」は、平成13年度で終了し、従業員の方が、自発的に職業能力の開発や向上に取り組めるように援助をされる事業主の方に対して「キャリア形成促進助成金」が創設されました。



- お問い合わせ先
- キャリア形成促進助成金について
雇用・能力開発機構熊本センター
キャリア形成支援コーナー
☎096-386-0355 FAX096-386-5104
ホームページhttp://www.ehdo.go.jp/kumamoto
 - 生涯能力開発給付金などについて
熊本県職業能力開発課 能力開発係
☎096-383-1111(内線5254)
FAX096-387-5869
電子メール shokunoukaiatsu@pref.kumamoto.jp

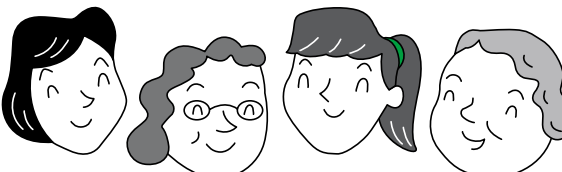
パスポート受付窓口の取り扱い時間を延長しました

- 県庁旅券センター
取扱時間／午前9時～午後4時30分
(火曜・木曜は交付のみ午後7時まで)
交付時間延長日(これまでは金曜日)が変更になっていますので、ご注意ください。
- 各地域振興局旅券窓口
取扱時間／午前9時～午後4時30分
(交付のみ午後5時まで)
どちらも土・日・祝日・年末年始はお休み



お問い合わせ先 熊本県庁旅券センター
☎096-382-8210
電子メール ryokense@pref.kumamoto.jp
各地域振興局総務課の旅券窓口
テレホンサービス☎096-364-8480

平成14年度くまもと女性特派員を募集します

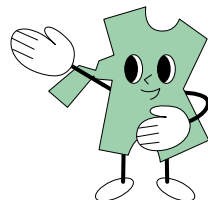


- 県の広報誌や広報番組を通して、女性の視点でとらえた県政の動きを広報してください。
- 募集人員／4人
 - 活動期間／平成14年6月1日～平成15年3月31日
 - 応募資格／県内にお住まいの20歳以上の女性(平成14年4月1日現在)
 - 募集期間／4月1日(月)～15日(月)
 - 提出書類／「私が特派員としてやりたいこと」をテーマに800字以内にまとめたもの
履歴書1通を次まで郵送または持参
 - 提出先／〒862-8570 熊本県広報課
「くまもと女性特派員」募集係まで

お問い合わせ先 熊本県広報課 企画・広報班
☎096-383-1111(内線3132)
FAX096-386-2040
電子メール kouhou@pref.kumamoto.jp

平成14年度地域県政モニターを募集します

身近な地域の課題について、その地域にお住まいの方からご提案をいただくため、各地域振興局ごとに「地域県政モニター制度」を設けています。募集する人数や応募方法など詳しくはお住まいの地域振興局までお尋ねください。また、熊本市にお住まいの方は、熊本県広報課までお尋ねください。



募集する地域振興局と募集人数

地域振興局	募集人数	電話番号
鹿本	2～3人	(0968)44-2111(内線355)
菊池	5人	(0968)25-4111(内線391)
上益城	4人程度	(096)282-2111(内線501)
芦北	8人	(0966)82-3111(内線306)
熊本市	15人程度	(096)383-1111(内線3134)

お問い合わせ先 熊本県広報課 報道・広聴班
☎096-383-1111(内線3134)
FAX096-386-2040
電子メール kouhou@pref.kumamoto.jp

イベント紹介参加者募集

くまもと緑の祭典インあまくさ

森の中でゲームやクラブト、炭焼き、間伐材の魚礁づくりなどを体験しながら、森林の役割や働きなどについて学びませんか。



- 期日 / 4月28日(日) 午前10時～午後3時
- 会場 / 天草郡新和町の竜洞山(りゅうとうざん)「みどりの村」一帯

お問合わせ先 天草地域振興局 林務課 森林保全係
☎0969-22-4371
FAX0969-23-8513
電子メール amanourinmu@pref.kumamoto.jp

くまもと県民カレッジ5月開講



県民の皆さんの生涯学習を応援するため、市町村や大学などと協力して、いろいろな講座や研修などの学習機会を提供します。実施メニューなど詳しい資料をご希望の方は、下記または県教育事務所までお問い合わせください。

お問合わせ先 熊本県生涯学習推進センター
☎096-355-4312
FAX096-355-4317
電子メール manabi@pref.kumamoto.jp

熊本県職員および警察官採用試験のご案内



〔申し込み受け付け期間〕
● 県職員(大卒程度) / 5月7日～5月24日
● 警察官(警察官A) / 5月7日～5月31日
● 警察官(警察官B(臨時)) / 5月7日～5月31日
試験案内・受験申込書は、4月19日(金)から県庁受付、各地域振興局などで配布を始めます。

お問合わせ先 熊本県人事委員会事務局総務課 任用係
☎096-383-1111(内線6834)
FAX096-387-4813
電子メール jinisoumu@pref.kumamoto.jp

知りたい! 県庁

皆さんの質問にお答えします。

Q

ピッキングのような犯罪は、熊本ではどのような状況ですか? 防止対策を教えてください。

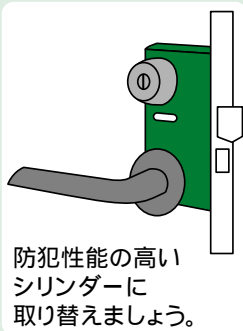
A

ピッキングとは、針金のような特殊な金属棒を使って、鍵をこわさずに短時間にドアを開ける侵入方法のことです。近年、関東地方の都市部のマンションやアパートなどで被害が急増しており、全国に波及しています。



熊本県内では、平成十二年は二十一件、平成十三年は十二件と、まだ少ない状況ですが、今後、犯行が増加する可能性も十分考えられます。ピッキング犯罪を防ぐためには、次のような方法が効果的です。

- ピッキングに強い錠(CP-C認定錠)の採用・取り替え



防犯性能の高いシリンダーに取り替えましょう。

- 一つのドアに錠を二つ以上取り付けるワンドア・ツーロック
- 玄関や勝手口などへ、人が近づくと自動的に点灯するセンサーライトの設置

お問い合わせ先

熊本県警察本部 生活安全企画課 地域安全対策室
☎096-381-0110(内線3053)
または 各警察署の生活安全課

Q

新幹線の工事をよく見かけるようになりまして、いつごろ完成するのですか? また、新幹線が通ると、どんな効果がありますか?

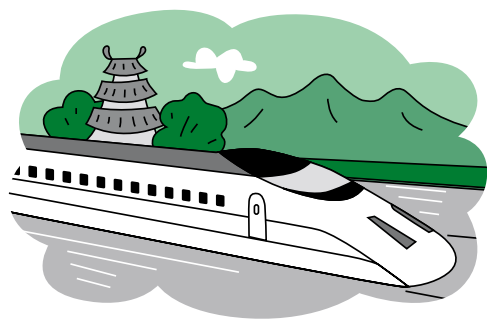
A

九州新幹線鹿児島ルートの新八代～西鹿児島間については、平成十五年末に完成し、平成十六年春ごろには開業される予定になっています。博多～西鹿児島間の全線の完成は平成二十五年ごろの予定です。

九州新幹線鹿児島ルート全線が開通すると、熊本と各地が短時間で結ばれることになり、移動時間が大幅に短縮されます。

- 熊本～西鹿児島間 四十分
- 熊本～博多間 二十四分
- 熊本～大阪間 約二時間半

このことによって、行動範囲も格段に広がり、九州内はもとより、中国、京阪神方面と観光やビジネスなどの面で交流が盛んになるとともに、新幹線駅を中心とした新たなまちづくりが進むなど、地域の活性化に大きな効果が期待されます。



お問い合わせ先

熊本県交通対策総室 新幹線・並行在来線対策室
☎096-383-1111(内線3560) FAX096-385-4815
電子メール koutsuutaisaku@pref.kumamoto.jp

県広報のご案内

広報誌
「県からのたより」・偶数月発行
「コラためんなる」・奇数月発行
第14号
「いろんな制度で家づくり」
【配置場所】
県庁、県地域振興局、市町村役場、主な郵便局、金融機関、一部の書店、一部のコンビニエンスストア
「点字版・録音版広報誌」
● 「県からのたより」「コラためんなる」の点字版、録音版。詳しくは、次まで。
熊本県点字図書館(☎096-383-6333)

メールマガジン
週刊メールマガジン「気になる! くまもと」
● 毎週金曜日 無料配信中
熊本の魅力や最新情報などをいち早く電子メールと専用サイトでお届けしています。
● 内容
・知事エッセイ(月1回)
・熊本県新着情報、イベント&募集案内など
● お申し込みは、次のアドレスにどうぞ。
<http://www.kininaru-k.jp>
県庁ホームページ
<http://www.pref.kumamoto.jp>

ラジオ
RKK
「ふれあいくまもと」
● 毎週火、木、土曜日
10時25分～30分
FMK
「県庁ダイアリー」
● 毎週月、水、金曜日
8時40分～45分

県広聴制度のご案内

知事への直行便
● 県政へのご意見・ご提案などを専用の封筒と便せんなどで受け付けています。専用の封筒と便せんは、市町村役場をはじめ公共施設などに置いています。
知事への提言広場
● 電子メールによる県政へのご提言などを受け付けています。県庁ホームページの「ようこそ知事室」から送信できます。
県行政相談
● 県行政に関するご相談をお受けしています。
月～金曜日、9時～12時、13時～16時
☎096-382-3504

